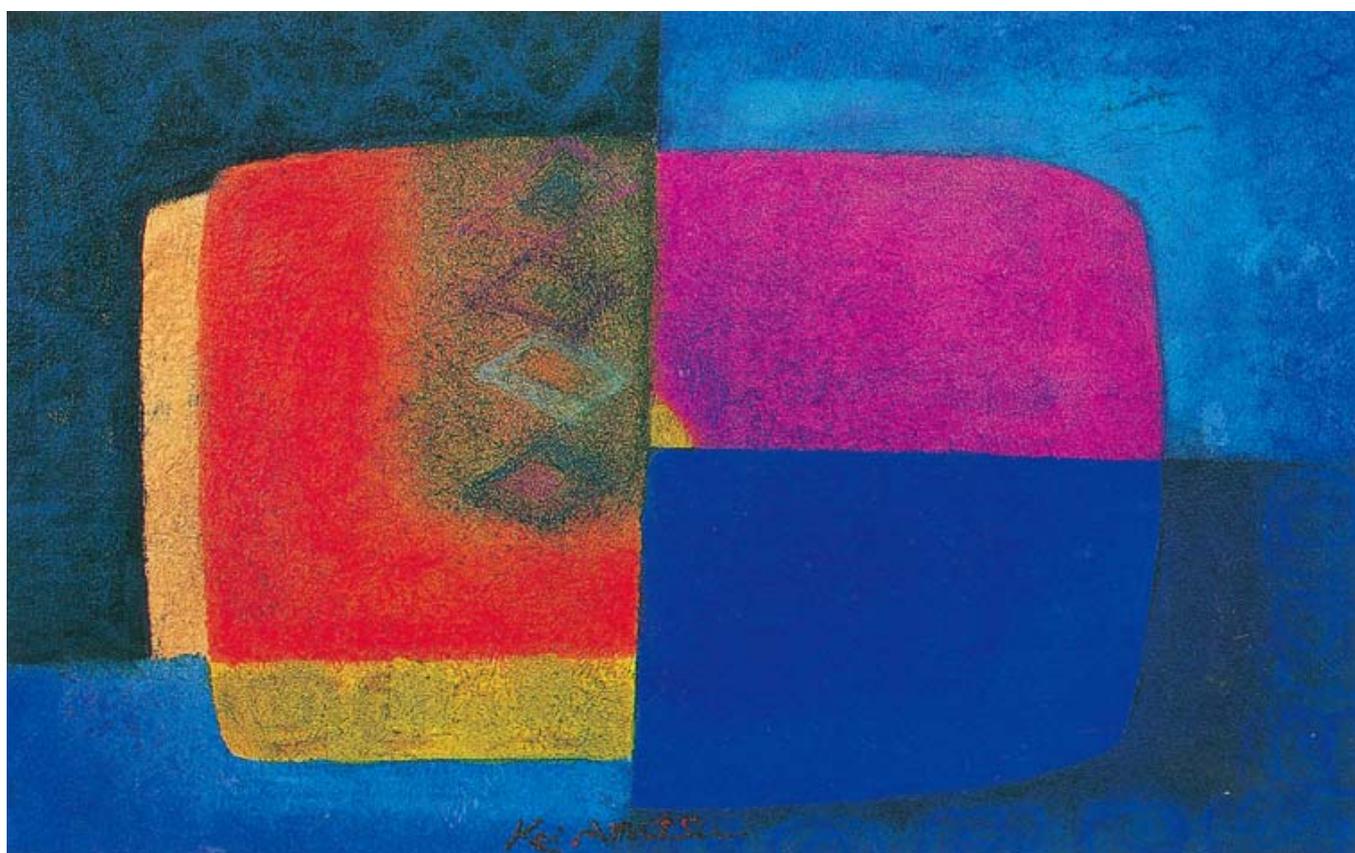


第1回しまね景観賞



島 根 県

表紙作品

「ブロードプラザ」

画・天津 恵

ふるさと島根の魅力ある
景観づくりをめざして

平成5年度

第1回しまね景観賞



しまね景観賞表彰銘板
(アルミ合金鋳物製)
(22cm×27cm)

はじめに

島根県知事 澄田信義



機能性、効率性を追い求めていた時代から、潤いや安らぎ、快適性を求める声が高まる中、島根県では、平成3年12月「ふるさと島根の景観づくり条例」を制定し、優れた自然や伝統文化を生かし、生活と文化の豊かさを実感できる県土、活力あふれる地域づくりを進めているところであります。景観づくりに対する関心も、市街地の緑化事業や景観づくり助成事業等を通じて、徐々に高まってきております。

そうした中、地域の景観づくりに特に貢献したものを表彰し、快適で文化の薫り高い島根の景観づくりを推進する一助とするため、本年度「しまね景観賞」を創設しました。

今回はじめての景観賞の募集ではありましたが、県民、事業者及び行政関係者の皆様のご理解により多数の応募をいただきました。このことは、多くの皆様に景観に対する関心を高くもっていただいたものと考えています。今後、景観賞が人々の暮らしや地域の発展と調和した魅力ある地域景観の創出に寄与していくことを期待するものであります。

受賞された皆様に深く敬意を表しますとともに、選定にあたりご尽力いただきました「しまね景観賞審査委員」の諸先生方並びに、この賞の趣旨に賛同し応募をいただきました皆様に対しまして厚くお礼申し上げます。

平成6年2月

審査を終えて

しまね景観賞審査委員会
委員長 藤岡大拙



近年、景観問題が全国的な関心を集めています。これは開発によって景観が損なわれつつあるのを、残念に思う人びとが増えているからです。

島根県は開発の波が比較的緩やかであるため、美しい自然や歴史的景観がよく残されており、全国から注目されています。それだけに、開発にともなう景観の改変には特に配慮しなければなりません。

さて、島根県では今年度から景観賞をもうけ、まちなみ、公共土木事業、公共建築物、民間建築物、工作物、緑化・修景の6部門に分け、それぞれの部門で景観形成にすぐれた業績をあげた事業物件を顕彰することになりました。

応募件数は122件の多きに及び、景観に対する関心の高さにあらためて感銘をおぼえました。応募された事業物件は質的にハイ・レベルのものが多く、審査委員一同、難渋しながら慎重審議を重ね、受賞事業・作品を選定いたしました。

本賞が、島根らしい調和のとれた、美しい景観を保全・形成するための気運醸成に、着実に寄与貢献することを願いますとともに、景観問題について、県民の皆さんのより一層のご理解とご協力を願ってやみません。

平成6年2月

大森町町並み保存事業



石見銀山盛衰の歴史とともに歩んできた大森の町は、ここを訪れる多くの人々に心の安らぎを与えてくれる町である。

代官所、武家屋敷、商家、町屋が混在し、全長約2.8kmにわたって形成された町並は、今も往時の面影をとどめている。

昭和61年に地元住民で「大森町町並み保存対策協議会」を組織し、翌年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。この地区では、昔ながらの技術を生かしながら家屋を復原するなど、住民と行政が一体となって歴史的町並みの保存事業に取り組んでいる。

所在地——大田市大森町

事業主体——大森町 町並み保存対策協議会

高瀬川沿い町並み整備事業



高瀬川は単に用水路、荷物運搬路などの機能を果たしてきたばかりではなく、古くからその清流は、沿線の伝統的な町並みや水面に映る柳の風景と相まって、出雲の人に愛され、親しまれてきた。この沿線には、趣のある町屋が数多く残っているが、特に、千歳橋から上成橋に至るまでの良好な歴史的景観資源を活かした町並みは、出雲らしい落ち着きと味わいを感じさせる。

また、ここでは快適で魅力ある景観づくりのために、各種の町づくり活動が積極的に続けられている。

所在地——出雲市今市町

事業主体——出雲高瀬川 燈ろう流し協議会

大 浦 橋



この橋は、江の川と周囲の山々が織り成す自然景観と調和するよう配慮され、技術的にも県下で他に類を見ないものである。

橋梁形式には、景観上と経済性の観点からバスケットハンドル型ニールセン系ローゼ桁を採用し、ケーブルは耐久性と美観を考慮してアルミカバーを施している。

また、橋体には、錆安定化処理仕上げの無塗装仕様耐候性鋼材を使用するなど、将来の維持管理面や景観の向上に着目した多くの設計上の配慮がなされている。

所在地—— 邑智郡大和村大字長藤

事業主体—— 大 和 村

設計者—— セントラルコンサルタント 株式会社
広島支店

施工者—— 株式会社 春本鐵工所

三刀屋川河川環境整備事業



三刀屋川は水質も良好で、堤防沿いの桜並木とともに多くの人々に愛されている河川である。

ここで実施された河川環境整備事業では、散策やレクリエーションの場を提供するため、高水敷に親水公園や舟溜りなどが整備され、良好な水辺環境を創出している。これにより、町や自治会による川と親しむための様々な活動が行われたり、広場の管理、清掃が地元のボランティアで行われるなど、地域住民と川との絆は一層深いものとなっている。

所在地—— 飯石郡三刀屋町大字三刀屋

事業主体—— 三刀屋町

設計者—— 株式会社 ワールド測量設計

施工者—— 梅木建設 株式会社

出雲文化伝承館



出雲文化伝承館は、出雲風庭園や屋敷構えをはじめとする住文化を後世に伝えるために、維持が難しく失われつつある豪農の住宅を移築整備したものである。

この建築物は、背後の北山や周辺の田園風景と調和するよう配慮され、出雲の風景の中に溶け込むように存在している。

展示館や研究棟は、母屋と調和するよう和風デザインとなっており、屋根の棟の部分に來待石をあしらうなど、地域固有の建築様式を表現するとともに地場産材の活用を図っている。

所在地—— 出雲市浜町

事業主体—— 出雲市

設計者—— 株式会社 馬庭建築設計事務所

施工者—— 清水・御船特別共同企業体
代表者 清水建設株式会社 広島支店

和鋼博物館



鉄文化の総合的な博物館として建設された和鋼博物館は、地域の文化活動の拠点となるとともに、ハガネのまち安来の象徴的存在である。

この建築物の外観は、たたら製鉄の高殿を模した鉄骨方形屋根に特徴があり、さらに、建物各部に雲や勾玉、中国山地の山並み、十神山、灯台などの風景を表現したそのデザインは、たたら製鉄の技術を育んできた出雲、安来の風土を感じさせるものとなっている。また、建物と調和し一体感のある広場や緑地帯を設け、親しみやすく魅力的な外部空間を創出している。

所在地 — 安来市安来町

事業主体 — 安来市

設計者 — 有限会社 宮脇檀建築研究室

施工者 — 清水建設・丸永建設特別共同企業体
代表者 清水建設株式会社 広島支店

浅野小児科医院



明治末期に開設されたこの医院の建築物は、長い年月の間に松江の街になじみ、時代精神を感じさせる建物として市民に親しまれてきた。

このような状況を踏まえて行われた改築では、コスト面や幾多の法規制の壁を克服して、出来るだけ創建当時の姿に戻しながら修復がなされた。

価値ある建築物のファサードを残し、修復するといった手法で改築された数少ない貴重な事例であり、今後とも、市民共有の財産として親しまれていくことであろう。

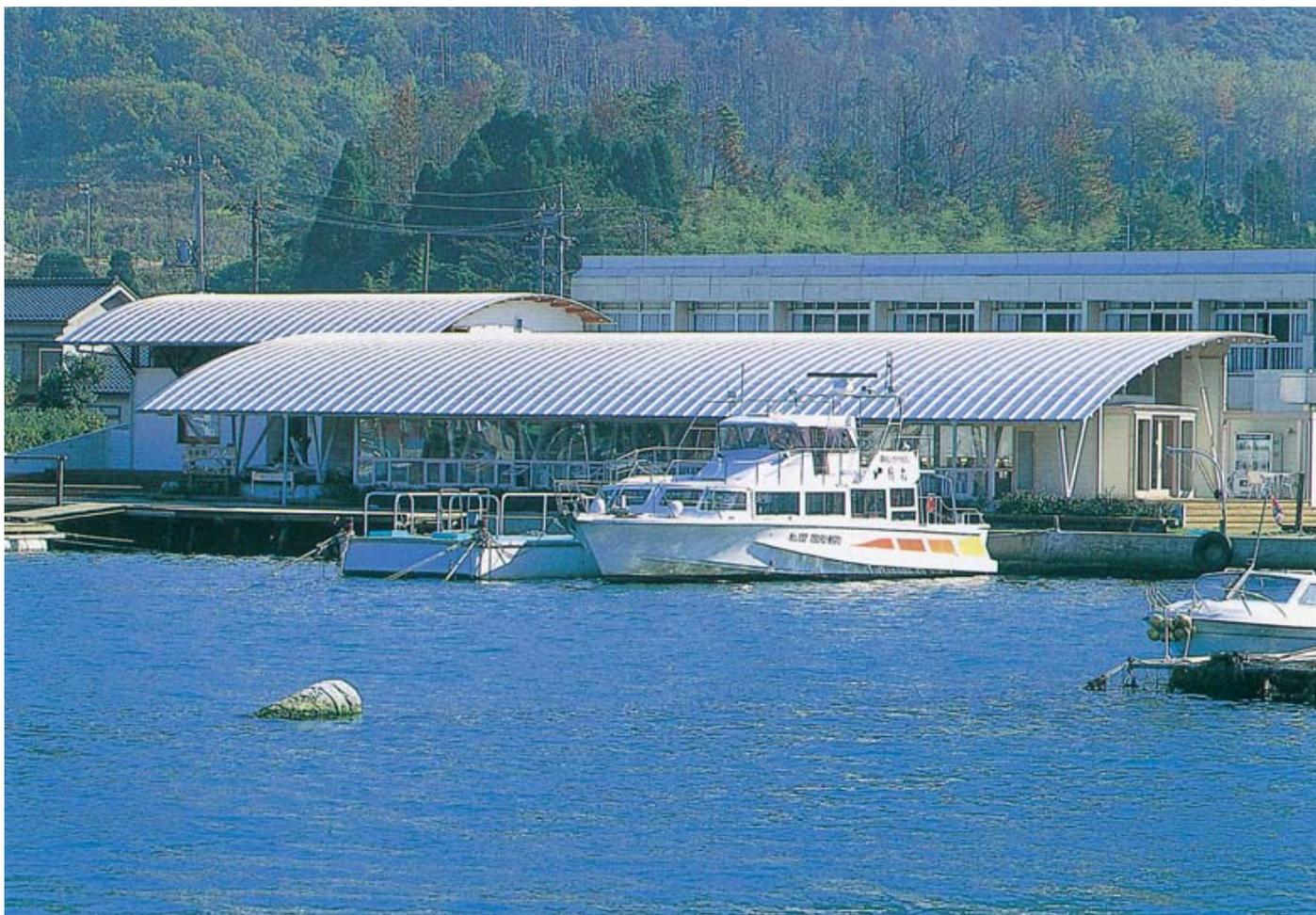
所在地——松江市末次町

事業主体——浅野小児科医院

設計者——有限会社 環境計画建築研究所

施工者——株式会社 伊藤工務店

隠岐海遊園



この建築物は、海辺のリゾート施設としての躍動感や期待感を表現しながら、周辺の景観との調和を考慮し、白い帆船が軽やかに浮かんでいるというイメージの外観となっている。

また、休憩棟と宿泊棟の間は木製のエントランスデッキが設けられ、戸外の休憩所と広場としての機能を持たせながら、海辺の賑わいを演出している。

構造は木造で、曲面屋根には集成材を用いるなど木の持つ素材感を生かしながら、力強さ、やわらかさ、ぬくもりを表現している。

所在地——隠岐郡西ノ島町大字美田

事業主体——つる丸汽船観光 有限会社

設計者——株式会社 寺本建築・都市研究所

施工者——カナツ技建工業 株式会社

大社町サイン整備事業



木彫レリーフ、総合案内板、拠点案内板、説明板、誘導標識の5種類のサインで有機的に構成されたこのネットワークシステムは、設置箇所が81箇所にもおよび、公共サインとしての役割を十分に果たすとともに、大社町らしさの創出に多大な貢献をしている。

素材は、町のイメージにふさわしいものとして、木材が選定されている。また、町並みとの調和に配慮したサイズや表示形式の決定が行われ、そのデザインも格調高く優れたものとなっている。

所在地—— 簸川郡大社町

事業主体—— 大社町

設計者—— 島根大学教育学部教授
石野 眞

施工者—— 有限会社 ぼっくす

THE WEST HORIZON



県立国際短期大学の広場にあるこの石造のモニュメントは、大学の全体構想の中心である基軸の出発点に位置し、ゆっくりと弧を描く伸びやかな形をした彫刻である。

高さ10 m、重量約50 tの御影石の造形は、朝日に輝き夕日に映えて、象徴的でさわやかな雰囲気を醸し出しており、国際大学のシンボルにふさわしい。

ここに立って、日本海に沈む夕日を眺めるとき、はるか海の彼方の遠い世界へと想いを馳せることができる。

所在地——浜田市野原町

事業主体——島根県

設計者——東京芸術大学美術学部
美術学部長 澄川 喜一

施工者——黒髪石材 株式会社

東三瓶フラワーバレー事業



この事業は、志津見ダムに係る買収用地の管理対策の一環として実施されているもので、地域の活性化とダム事業のイメージアップを図ることを目的に、約20haの広さを持つ日本一の花畑がつくられている。

ここでは、春にはポピー、秋にはコスモスが咲き乱れ、地域住民はもとより、訪れる多くの人々に潤いと安らぎをもたらしている。

所在地—— 飯石郡頓原町大字志津見

事業主体—— 志津見ダム対策同盟会

堀家修景事業



かつてこの地は、銀や銅を産出し、徳川幕府はここを天領とした。堀家はその差配役として300年の歴史を歩んできた。

天明8年に築造された広大な屋敷のたたずまいは、庭園とともに豊かな自然と一体となり、四季を通じて多くの人々を魅了している。

近年では、道路を隔てた「和楽園」とともに、歴史的雰囲気と調和した修景事業に取り組んでいる。

また、この地区は「天領の里、春秋峡」と呼ばれ、津和野八景の一つに数えられている。

所在地—— 鹿足郡津和野町大字呂輝

事業主体—— 有限会社 堀庭園

審査委員

●審査委員長

藤岡 大拙

島根女子短期大学教授
(島根県景観審議会会長)

天津 恵

画家

裏戸 勉

松江工業高等専門学校教授
(島根県景観審議会委員)

梶谷 邑

島根県建築士事務所協会会長
(島根県景観審議会委員)

高野 正臣

島根県広告美術協同組合代表理事
(島根県景観審議会委員)

田中 昌子

島根県建築士会女性部会長
(島根県景観アドバイザー)

田村 美幸

公共の色彩を考える会委員長

長谷川 堯

武蔵野美術大学造形学部教授

藤居 良夫

島根大学農学部講師
(島根県景観アドバイザー)

布野 修司

京都大学工学部助教授

矢田 清治

島根県建築士会会長

金森 利吉

島根県環境生活部長

敬称略・50音順

審査基準

1. まちなみ部門

地域住民の合意と協力により、積極的にまちなみ整備に努めているもので、魅力ある地域景観の創出・保存に貢献しているもの

2. 公共土木事業部門

先導的な公共事業として優れた自然や伝統文化を生かすとともに、人々の暮らしや地域の発展と調和し、将来にわたる文化的資産となるよう工夫されているもの

3. 公共建築物部門・4. 民間建築物部門

優れた意匠等により景観形成に良好な影響を与え、地域性及び快適性等に配慮して地域の景観形成をリードしているもの

5. 工作物部門

優れた意匠等により景観形成に良好な影響を与えるとともに、個性ある地域景観の創出に貢献しているもの

6. 緑化・修景部門

緑化・修景のための事業又は活動で、魅力ある地域景観の創出に貢献しているもの

審査経過

募集期間

平成5年9月20日(月)～11月20日(土)

募集結果

推せん(応募)総数……………136件

推せん(応募)物件数……………122件

第1回審査委員会(平成5年8月27日)

対象物件、募集方法、審査日程、審査基準等の検討

第2回審査委員会(平成5年12月21日)

審査基準、応募資料に基づき、6部門12事業・作品を選定

表彰式(平成6年2月14日)

受賞事業・作品の事業主体、設計者、施工者に対して表彰状を、事業主体には副賞として銘板も併せて贈呈



第1回しまね景観賞

表彰対象事業・作品

まちなみ部門

- ①大森町並み保存事業（大田市）
●事業主体／大森町並み保存対策協議会
- ②高瀬川沿い町並み整備事業（出雲市）
●事業主体／出雲高瀬川燈ろう流し協議会

公共土木事業部門

- ③大浦橋（大和村）
●事業主体／大和村
- ④三刀屋川河川環境整備事業（三刀屋町）
●事業主体／三刀屋町

公共建築物部門

- ⑤出雲文化伝承館（出雲市）
●事業主体／出雲市
- ⑥和鋼博物館（安来市）
●事業主体／安来市

民間建築物部門

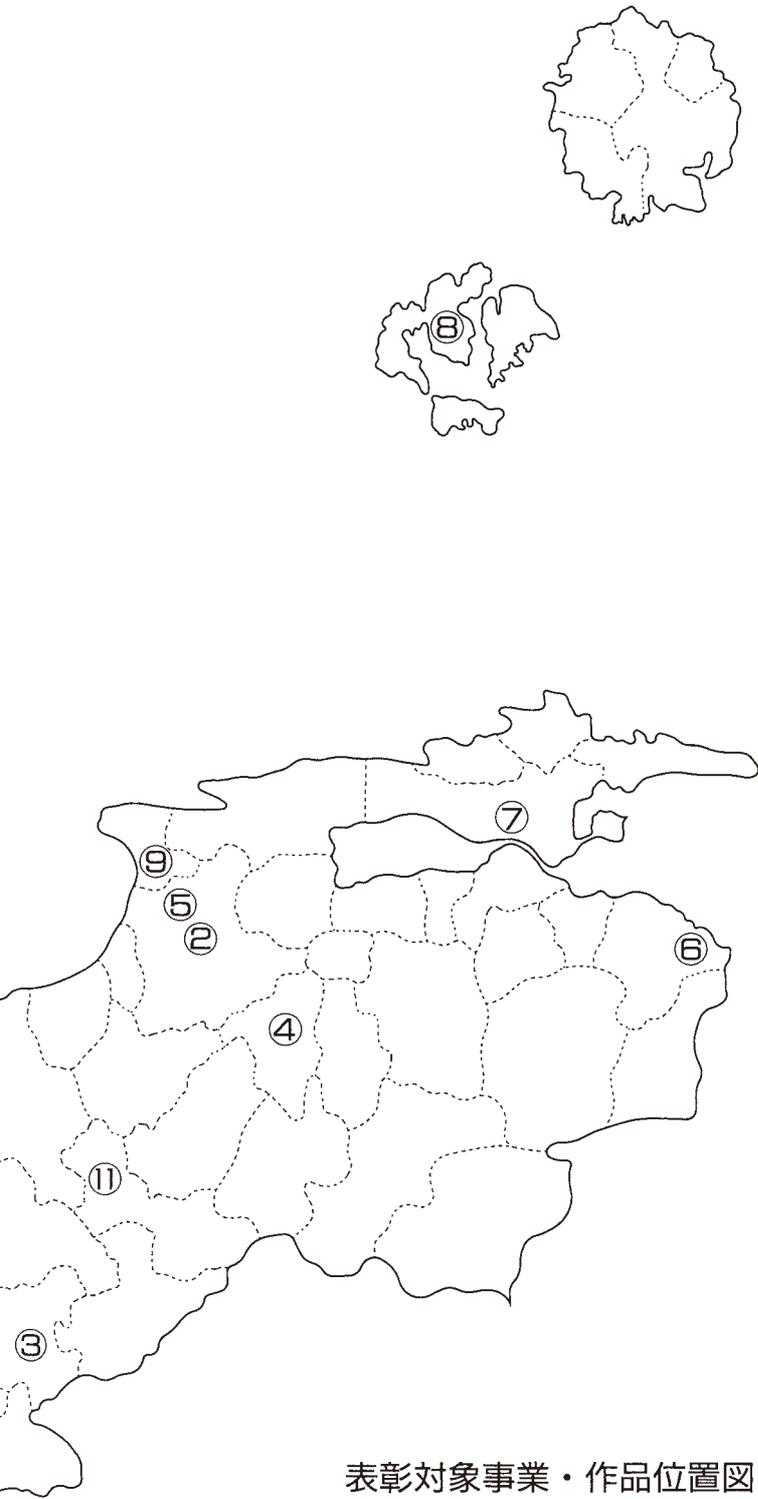
- ⑦浅野小児科医院（松江市）
●事業主体／浅野小児科医院
- ⑧隠岐海遊園（西ノ島町）
●事業主体／つる丸汽船観光有限会社

工作物部門

- ⑨大社町サイン整備事業（大社町）
●事業主体／大社町
- ⑩THE WEST HORIZON（浜田市）
●事業主体／島根県

緑化・修景部門

- ⑪東三瓶フラワーバレー事業（頓原町）
●事業主体／志津見ダム対策同盟会
- ⑫堀家修景事業（津和野町）
●事業主体／有限会社 堀庭園



表彰対象事業・作品位置図

